

花の台学童保育ホール

HANANODAI GAKUDOU

このサイトを検索

ホーム

入室募集

お知らせ

花の台って？

よくあるご質問

ホールだより

花の台コラム

イベント

ご支援のお願い

[全花の台コラム](#) >

夏休みの過ごし方

2014/08/11 13:04 に 花の台学童保育ホール が投稿

さて「夏休みの過ごし方」。

保育園で過ごして来たワーキング家庭において、ひとつの壁、というか、懸念事項にはまちがいないことでしょう。

真夏のあつつい日中、一人でどうやって過ごさせよう？ご飯は？お出かけ先は？

もちろん、一人できちんと過ごせる、または、きちんとじゃなく思うがままに過ごせるお子さんもいることでしょう。それでも、不安に思ってしまうご家庭の方には、やっぱり花の台はおすすめなのです。

とは言え、実際に子どもたちがどう暑苦しく過ごしているかは、親にとっては見ることの出来ない未知の時間ですので、今回のおすすめポイントは、「花の台に行っていて親が助かる！夏休み」という部分です。

東京や埼玉などの別地域で、同じような年代のお子さんを公立の学童などに通わせているママ友さんに、「いいね！うらやましい！」と言わしめた数々の事例を、ご紹介しましょう。



助かるその1:学童で、お昼ご飯を作ってくれる日がある！

夏休みの学童保育と言えば、たいがいがお弁当持参。傷まないかしら？量は足りてるかしら？なにより毎朝作るの、ムリ！！ただでさえ時間無いのに～～！

ー花の台では、夏休み中のウイークデー週5日間のうち、1～2日、学童内で食事を用意してくれます。丼物やサンドイッチ、麺類など、バリエーションもいろいろ。カレーのときなどは「ご飯かパンは持参」という時もありますが、それでも用意する方にとっては大助かり！



夏休みの昼食は、子どもたちが班ごとに回り持ちでお手伝いをしながら作るので、普段、家で全然お手伝いをする暇がない子たちでも、ちよつとずつ、家事に接する機会になります。何より週に1～2回でも、温かいものは温かく、汁物も摂れる、というのは、食事の質としても大切なことだと思います。

助かるその2:いろいろなアクティビティに連れ出してくれる！

たいていの公立学童施設は、あくまで子どもを一時預かりおくスペースの提供、というスタンスなどところがあるようなので、基本、小学校などに付随したような施設内で1日を過ごすこととなります。

放課後の数時間なら問題ないでしょうけれど、真夏の1日を毎日過ごすとなると、なかなか窮屈・・・?とも思われます。

花の台学童では、夏休み中、近隣の公園に通って、文字通りいろんな意味で「真っ黒」になるまで遊び倒してくれることはもちろん、おおよそ毎週1回以上、バスや電車を利用して行くような大きなプールや科学館、映画などに連れ出してくれます。

かかる費用は実費のみ。お弁当持参の場合もありますが、現地で買い食いの時もあります。家庭で、お盆にからめて大きなお出かけは計画したとしても、むしろ家族だけではそうそう毎週なんて行かないようなプチイベント。

もちろん指導員が引率しますが、1年生から6年生までが連れ立っての夏の特別なお出かけは、きっと子どもたちを、大きく成長させてくれているに違いありません。



助かるその3:高学年には“ちょっと冒険”も!

「その2」に付随して。

4～6年の高学年は、さらに特別なお出かけがあります。現地で指導員が合流しますが、行きの行程を子どもたちだけで行くお出かけです。夏の恒例行事で、新4年は初めてでドキドキ。5～6年はちょっと責任感、というところでしょうか。





ワーキング家庭ってお出かけが週末に限られがちで、しかも一気に用事を片付けようとするから、結果、マイカー移動が多かったりしませんか？子どもたちだけで、改札を通過して電車に乗って移動するのも、貴重で大事な経験です。意外なところで“鉄ちゃん”が本領発揮したり、普段はすっごいお兄ちゃんな子に限ってプチ迷子になったり。それでも本人たちできちんと解決して目的地に着ける、というのが、家庭だけではなかなかさせてあげられない経験ですね。

助かるその4:夏休みの宿題も、助けてくれる！

夏休みの普通の1日には、午前の1時間ほどに「勉強時間」と、午後に「読書時間」を設けてくれています。

家だと、とりあえずゲーム～、宿題飽きたからまた明日～、なんて、親が居たってなかなか規則正しくいきませんが、みんなで同じ時間を集中して過ごすことで、1日にメリハリができます。また、希望者には、簡単な工事を企画・制作してくれるので、ただ楽しむだけはもちろん、そのまま「自由研究」の提出物にすることも可能！

夏の天敵の大物が、一つ、ほっといても片付くなんて！



今回ご紹介した事例と似たようなことを請け負ってくれる学童保育は、もちろん他にもあることでしょう。

だから、花の台！サイコー！とイチオシするわけではありませんが、肌感覚として、すごく、子どもたちの身の丈に合った、無理しすぎない、親も納得できる「夏休み」を過ごさせてもらっているな、と感じています。

親にとっては「今」、子ども自身にとっては「振り返ったとき」に、きっと、得難い夏になっていることでしょう。

今年の夏も暑いけど、ほんとはエアコン大好きだけど、家に帰ると「汚い！風呂行け！」と理不尽に怒られるけど。

花の台っ子は、汗だくつゆだくで、今日も遊び倒すのです。

(2年あらた/5年ひなた兄弟の母)

コメント

コメントを追加する権限がありません。

花の台学童保育ホールは川崎市宮前区にある自主共同の学童です。

〒216-0003 神奈川県川崎市宮前区有馬2丁目9-4

TEL:044-877-5304 / e-mail: info.hananodai@rhythm.ocn.ne.jp

Copyright(C)2014 Hananodai-Gakudou All Rights Reserved.

[不正行為を報告](#) | Powered By [Google サイト](#)